

パルテノンスカイで9.1mスパン

タイバーなしの小屋空間が可能

ポラテック

ポラテック(埼玉県越谷市、中内晃次郎社長)のオリジナル架構方法「パルテノンスカイ」を採用した木造パレエスタジオが東京都大田区で上棟した。スパン9.1mの大空間をタイバーを使わない合掌梁だけで実現できる構法で、柱部分にオリジナルの幅耐力壁「パルテノン」450mm幅を使用し、合掌が開くことを防止する構造を取る。ベースになるパルテノン口での大開口を必要とする場合は、幅350mm×450mmのケースなどで採用率7倍相当の大臣認定力性に着目し、合掌の受けている。狭小間登り梁を受ける柱にパ

ルテノンを採用、タイバーなしでも合掌が開くことのない構造を可能にした。小屋空間を大きくとりたい場合などに有効なパルテノンスカイも開発。教会など屋根形状にこだわる建築で3件の実績がある。今回のパレエスタジオは、4寸勾配の合掌登り梁(構造用集成材1200×450mm)の

端部とパルテノンの接合部、脚部もオリジナルの接合員インクルーズで緊結した。また一部パルコン11820mmをパルテノンスカイから吊る方式で実現。施工は片側ずつ立ち上

げ、合掌の中心部に仮柱を設けて施工時に安定を確保し、登り梁を接合、緊結し野地を施工した後で仮柱をカットする施工法を取った。

べ床面積68・88平方m、軒高6000、最高7944mm。木造省令準耐火構造。木材は構造材で22・88立方mを使用した、設計のジョイ建築設計事務所はポラテック木造非住宅

の会員でもあるため、ポラスオリジナル構法をよく知ったうえで設計を行い、パルテノン間のスペースに収納を設けるなど空間をうまく活用している。工期は2017年2月末完工の予定。



パルテノンスカイでタイバーなしの大屋根実現(上)と登り梁端部の接合